

# 各駅停車しか停まらない「中間駅」で、しあわせなまちをつくるには

～小田急線生田駅でのケーススタディより～

中西菜穂子\*1, 竹中薫\*1, 高橋祥\*1, 大坂岳史\*1, 田村 高志\*2

\*1: 株式会社U'eyes Design所属 \*2: 株式会社小田急エージェンシー所属

- 背景**
- 各駅停車しかとまらない「中間駅」は、都心への出勤者が生活を営む場所である。
  - マーケティングの場としての注目度は低く、開発にむけた投資や調査もあまり行われない。



中間駅の例 (小田急線一部より)

## 目的 生活の拠点となる中間駅周辺で、住人自身が生活満足度を高める自律的なメソッドをつくる

### 先行研究

#### まちづくり事例収集

まちづくりの先行事例41種を収集し、背景・目的・概要・まちとの関わり/実態を一覧化。

中間駅での活動を想定しながら、住人の満足度に貢献できる事例にフォーカスし、生活満足度を上げるために必要と思われる要素を抽出。

### 実態調査

#### まち視察

登戸～百合ヶ丘の駅周辺を実際に訪れ、様々な場所や人を観察、インタビュー。

#### 学生インタビュー

明治大学生田キャンパスの学生24名へ、生田のまちについてのインタビュー。



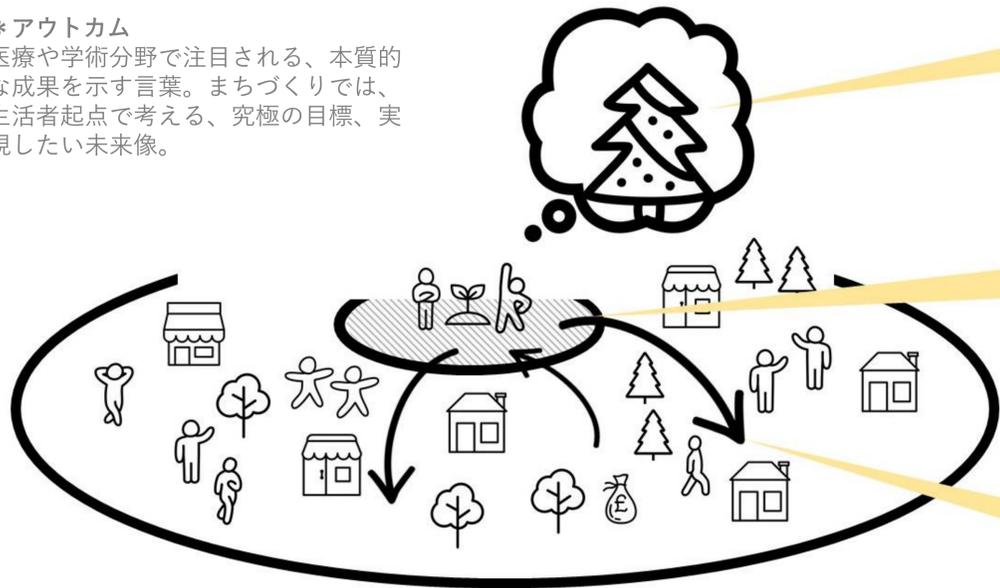
まち視察の様子



学生インタビューの様子

- 考察**
- 中間駅周辺の生活者の満足度を上げるためには、外からのチャンスを待つのではなく、まちの中で変化を起こしていかなければいけない。そのために**必要な3つの要素**を以下のようにまとめた。
  - 各要素に対して、生田駅での実態視察で得られた情報をもとに、**中間駅の実情**について整理した。
  - 3つの要素と中間駅の実情ギャップから、今後の展望を策定した。

\*アウトカム  
医療や学術分野で注目される、本質的な成果を示す言葉。まちづくりでは、生活者起点で考える、究極の目標、実現したい未来像。



#### 必要な3つの要素

##### まちのアウトカムがある

どういうまちへ変えていきたいか、将来の姿をまちの中で描いている

##### リーダーシップを出せる場がある

アウトカムを持つ生活者がコアとなり、周囲とかかわりながら活動できるコミュニティがある

##### まちとのネットワークがある

まちへの愛着や人脈が強く、中に存在する様々な資源にアクセスできる

#### 中間駅での実情

**まちの未来について考える機会が少ない。**考えてもまちの中に浸透していかない。マーケティングのために外の組織が考えたアウトカムが入ってくることも少ない。

まちを自分で変えていける認識が少なく、全体として「まちには何もないから仕方ない」という**受け身な姿勢、諦め感**がある。寄り集まり、行動を起こせるような場も少ない。

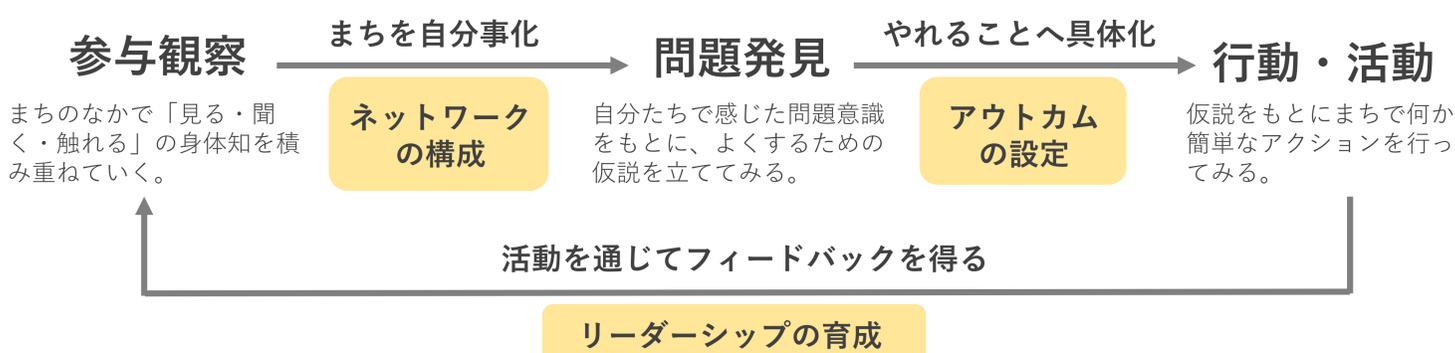
通勤・通学のアクセスや家賃などの消極的な理由で住み始めることが多いため、「**まち**」を選んで住んでいる**感覚が薄い**。それ故まちへの興味も低い。まちとの接点も少ない。

### 今後の展望

#### 方針

デザイン思考のマインドセットをまちづくりに活用し、まちの**住人が主体**となって活動を起こし、彼らの暮らしに**最適なまちへ変えていける**ようになる

→私たちの役割：まちと関わる活動を住人と一緒に実践し、まちを変えていくとともに、まちの中の活動する場や関わる人を育成していく



2019/10～

仮説検証として、現在生田で明治大学生田キャンパスの学生さんと、デザイン思考型のまちづくりプロセスの共創へ向けて、準備を進めている。